

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

実施月日	平成31年5月21日(火)		
実施時間	8:00~16:00		
調査先	藤野倶楽部/百笑の台所		
調査所在	神奈川県相模原市緑区牧野4611-1		
調査の目的	ビオ野菜市のクラウドファンディング		
調査先担当者	ビオ野菜市事務局 土屋拓人		
内容・結果等	<p>1. オーガニックファーマーズマーケット/ビオ野菜市 無農薬野菜の市 若者30名有機農家さんが自ら直売 毎月2回のビオ野菜市を開催、紹介映像あり(作成) Webサイト ①わがやのビオごはん Sovory recipes from home ②農家さん紹介 Introducing the Farmers ③飲食出店者さん紹介 Introducing the food stands ④お問い合わせ/出店希望 ⑤地域通貨 Local Currency⑥掲載報告 Press releases ⑦ 2019年2月より オンライン定期宅配サービス「BIO BOX」開始</p> <p>山の暮らしを食べる通信 2019年2月より オンライン定期宅配サービス「BIO BOX」とBIO MAP 作成 地域通貨が流通し、一部の野菜を地域通貨で購入できる。 地域通貨には、藤野地区の人の約10%の人が参加している。 地域通貨で 古着の交換、送迎、いべんとWS、お野菜、物件、お仕事情報 農家さん紹介 ビオキッチン、おーぬき農場、やまはた農園、飯野種苗、アビオファーム コジマ農場、野生農園ザ☆ばん、安心農園、森魔女屋さん、chumart-チエルマルト TINY WORK COFFEE、芝チキ、mana harree~まなはれ~</p> <p><マトメ> バスが一日数本しか通わない中山間地に自然を活用して農業の経験のない 若者たちが、安心して食べられる野菜を作り、定期的オーガニックファーマーズマーケット /ビオ市を開いている。有機農業産物を販売して、そばには宿泊施設を設け、芸術村も近 くに作り、クラウドファンディングサイトを活用し、定期宅配サービスもしている。現在の参加 会員は30万人。自由にトライし元気に生きている姿には感動を受けた。 村には、ローカルデザインのアート作品が散在し、自由な発想で、食べ物に健康志向を取 り入れ自ら栽培し、ネットで販売し、、ファンド活用し、ふるさと芸術村構想を背景に「人」「水」 「森」「里山」「農林業」「芸術」を発展させて、魅力ある自分たちの村を形成し、Web発信して いることには、これからの中山間地の活用価値を感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	旅費		23,989
	宿泊費		11,200
	合 計		0
			35,189

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること